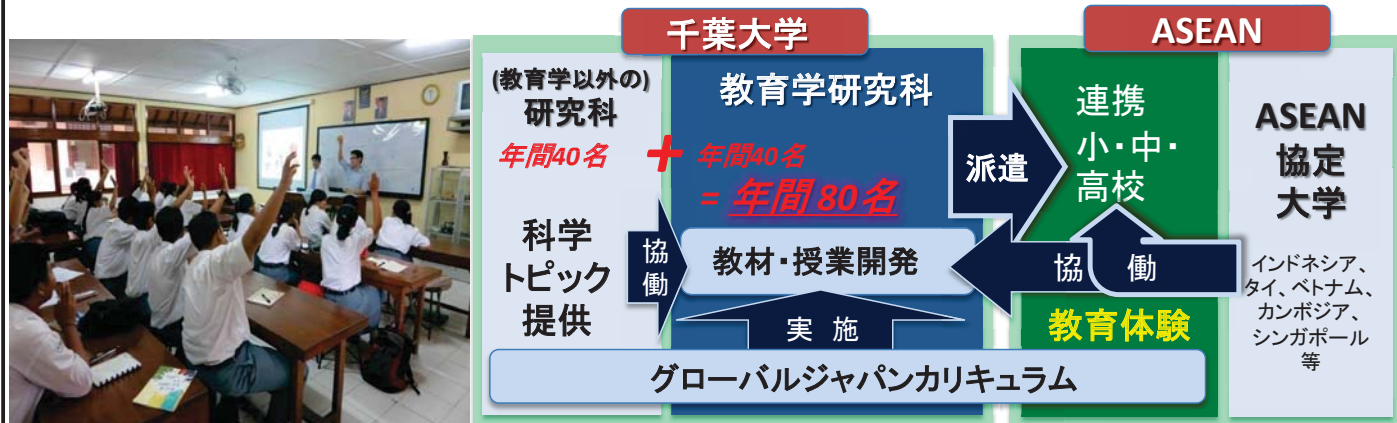


○教育学研究科と他研究科の学生に加えASEAN諸国の学生がグループを組み
現地の小・中・高校で先生となって、日本語・日本文化や千葉大学が
世界に誇る先端研究をテーマにした授業・実験を実施 ⇒ **SENDプログラム**



○全学体制での「グローバルジャパンカリキュラム」により
プログラムの質を保証しつつ国際活動を推進



予想されるプログラムの成果

国際化の加速、大学間の国際連携強化、国際教育活動の充実、留学生数増

⇒ **ASEAN諸国と日本における初等中等教育・高等教育の国際的活動拠点構築**

グローバルマインドを持ったリーダー教員養成 ⇒ **日本における教員養成の革新**

日本ファンの獲得、日本との交流拡大 ⇒ **日本経済等の持続的発展に貢献**



ツインクルプログラム 平成24年度の実績と成果

【プログラムの目的・養成する人材像】

拠点リーダーとして活躍しうる、グローバルな教育能力と視点を持つ教員と教育マインドを持つグローバル研究者

【構想の概要】

実践的教育研究に取り組む院生と最先端科学研究に取り組む院生とのカップリングにより「人材開発型」の教育プログラムの構築をおこなう。バックグラウンドが異なる研究科院生・学部生のツイン型学生派遣による協働促進カリキュラム(グローバルジャパンカリキュラム)を作成することで、ASEAN拠点大学での教育・研究活動による学位取得をも可能とする実践展開型授業プログラムを開発する。

■ ツインクルプログラムにおける学生派遣 (SEND)

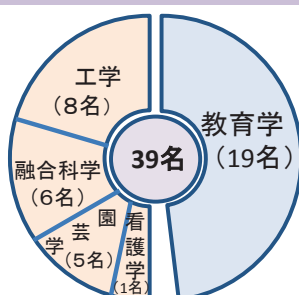
平成24年度はトライアルコースでの派遣により39名の学生をインドネシアおよびカンボジアに派遣した。平成25年度以降は派遣先をタイ、ベトナム、シンガポールに拡大し、80名を派遣する。

	H24	H25	H26	H27	H28
学生の派遣	39	80	80	80	80
学生の受入	0	100	100	100	100

注) H24は実績、H25以降は計画

グローバルジャパンカリキュラム 1セメスター (トライアルコース)		
渡航前講義	現地活動	活動評価
授業開発 授業実践英語 日本語・日本文化	科学・実験授業 日本文化紹介	修了 発表会

研究科別派遣学生分布



学生派遣先	連携大学	授業実施 中・高等学校	派遣人数
インドネシア	インドネシア大学	2校、計 8講義	8 名
	ガジャマダ大学	2校、計 8講義	8 名
	ボゴール農業大学	2校、計 8講義	8 名
	バンドン工科大学	4校、計 8講義	4 名
	ウダヤナ大学	2校、計 12講義	9 名
カンボジア	王立プノンペン大学	1校、計 4講義	2 名



インドネシアの大学および中・高校教員を交えた
第1回ツインクル活動成果報告会

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

- 千葉大学IECオフィス専任スタッフと4名の特任助教による現地での活動支援体制構築
- International Support Desk (ISD) との連携によるツインクル学生交流の全学推進

■ 教育内容の可視化・成果の普及

- シラバスの公開、ホームページによる情報提供、開発した教育プログラムを発信
- 外部評価委員会による評価

■ 交流プログラムの内容

- ASEAN学校教員による教員インターンシップ指導
- 派遣大学における院生・学部生間でのセミナー・研究交流
- 現地文化および日本文化交流